

栃 木 県 教 育 委 員 会 臨 時 会 会 議 録

令和 6 (2024) 年 8 月 19 日 (月)、栃木県教育委員会臨時会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

- 1 出席者（教育長及び委員）は次のとおりである。

1 番（教育長）	阿 久 澤 真 理
2 番	板 橋 信 行
3 番	鈴 木 純 美 子
5 番	永 島 朋 子
6 番	松 金 公 正

- 2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教 育 次 長	大 森 豊
教 育 次 長	長 裕 之
教 育 政 策 課 長	山 下 和 彦
義 務 教 育 課 長	高 野 和 泰
特 別 支 援 教 育 課 長	玉 田 敦 子
総 務 主 幹	大 岡 史 昭
教 育 D X 推 進 室 長	高 橋 伸 輔

- 3 午後3時00分、教育長及び委員 4 名が出席しており、委員会は成立したので、教育長は臨時会を開催する旨を告げた。

- 4 教育長は、本日の会議録署名委員に 6 番松金委員を指名した。

- 5 教育長は、本日の議案のうち、第 1 号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第 7 項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨を諮ったところ、全出席者の賛成により非公開とすることに決定した。

- 6 教育長は、審議の順番を入れ替える旨を告げた。

- 7 第 2 号議案 特別支援教育の充実に向けた方針について

第 2 号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

この議案に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

〔委 員〕

- ・ 特別支援教育の充実とハード整備の関係は重要と考えている。各施設・設備の老朽化等への対応が課題となる中で、特に食堂・厨房施設の老朽化、狭あい化について、今後どのように対応していくのか。
- ・ 通学保障としてのスクールバスについて具体的に御説明願いたい。

〔事務局〕

- ・ 資料本文 p. 3 に記載のとおり、食堂・厨房施設については、設置から年数が経ち、また生徒数も設置当時から増加していることから、老朽化や狭あい化に対応する必要がある。計画的な建替・改修により、教師や友達とのコミュニケー

ションを通じた食事に関する充実した指導を行える食堂や、食物アレルギーや刻み食等の再調理に対応した給食を提供しやすい厨房へと改善を図る。老朽化、狭あい化が著しいと報告のあった栃木特別支援学校及び那須特別支援学校から早急に対応を進めて参る。

- ・ 通学保障については、遠距離を理由としている栃木特別支援学校1名、那須特別支援学校2名の生徒に対し、それぞれスクールバスを栃木1台、那須2台の計3台を配車することで、家庭から通学できる体制を整備する。

〔委員〕

- ・ 近年、学校施設の整備強化が行われてきているため、特別支援教育の現場においても引き続き取り組んでいただきたい。
- ・ 国際的に見ると、我が国と同じようにインクルーシブ教育の充実を進めていこうとしている国は、特に安全面や1人ひとりに合わせた対応をどうしていくかが課題となっており、本県においても、そうした課題の対応をお願いしたいと考えている。

そうした意味では、取組の第一歩として、今回の方針が示されたということは非常に良いことであると考えている。今後具体的に細部を決めていくと思うが、慎重に進めていただきたいと考える。

〔委員〕

- ・ 特別支援教育の在り方に関する検討会の設置により、皆様から多くの意見を聞くことができたことで、特別支援教育の充実を進めるに当たって、しっかりとの方針ができたのではないかと個人的には思う。今後、この方針をしっかりと履行していくことが重要であるため、引き続き取り組んでいただきたい。

〔委員〕

- ・ 今回、これまであまり声を上げてこなかった保護者の意見を聞くことができたことは、大変有効であったと考える。
- ・ 特別支援学校は、通常の学校よりもさらに安心安全に取り組むことが大切である。
- ・ 県教育行政の取組は優先順位を持つことが大切である。1つ目は、多くの生徒や教職員が不便に感じていることを解消すること。2つ目は、子どもたちの学びに必要なことであること。3つ目は、弱者が支援されること。と考える。それらは、少数意見を排除するものではなく、現状を見直していく中で、新たな取組がどれだけ寄り添った施策になることができるかが重要である。今後の取組に期待をしたい。

〔委員〕

- ・ 資料本文p.7「(3) 教育と地域の連携」について、コミュニティ・スクールはこれまでは設置されていなかったのか。今後の取組についてはどのように考えているか。

〔事務局〕

- ・ コミュニティ・スクールについては、今年度から国分寺特別支援学校に導入をしたところである。高等学校と同様に、特別支援学校においても順次導入に

向け取り組み、地域の方々の声を反映しながら学校運営を進めて参りたいと考えている。

- 8 教育長は、第1号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。
- 9 第1号議案 公立小・中学校長の人事について
第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 10 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午後3時25分、閉会した。